

令和5年度 第3回 大阪市立東中本小学校 学校協議会 実施報告書

校 名 大阪市立東中本小学校

校長名 小 坂 元 彦

日 時		令和6年3月4日（月） 午後6時00分から午後7時50分	
場 所		大阪市立東中本小学校 多目的室	
出席者	委員など		
	校園	小坂 元彦（校長）濱澤和之（教頭）西川健（教務主任）尾崎恭恵（主任）	
	区役所	池田 直	
議題		(1) 令和5年度「運営に関する計画」（最終評価について） 学校アンケート他 (2) 令和5年度 全国体力運動能力、運動習慣等の調査の分析 (3) 次年度の学校行事等について	
協議要旨	協議の結果		意見の概要
	1、	運営に関する計画の取り組み内容、最終評価について説明。①安心・安全な教育の推進。いじめについて、最も肯定的な回答は、目標に少し及ばなかったが、昨年度の数値や大阪市平均を上回る。次に肯定的な回答を合わせるとは96％だった。「進んであいさつをする」は、目標を上回る結果だった。②未来を切り拓く学力・体力の向上。 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた」では、最も肯定的な回答が0.1％及ばなかった。しかし、「英語の勉強は好きですか」、「運動やスポーツをすることが好きですか」では、大阪市の目標を大きく上回っている。 校園長より次年度の方針について説明	1、委員より、いじめはどんな理由であつてもいけないと思う」で肯定的でない児童には、どう対応しているか。－アンケートの内容に鑑み追跡することはないが、端末相談機能で訴えている子には個別対応や全体指導を行っている。給食について、残食よりも、マナーの方で困っていませんか。－飛沫が飛ばないように指導している。箸の使い方等までは難しい。2、委員より、「英語の学習を主体的に取り組む」の項目で評価がAとは、素晴らしい。子どもたちは、大いに世界に羽ばたいてほしい。3、委員より、「授業中はよく発表している」では、目標が達成できないのは、全体の場で発表できないとできていないと思い込んでいるのではないか。－ペアでもグループの単位でも発表できればよいと認めてあげるなど、アンケート実施の際に方向付けをするとよいのではないか。4、委員より、学校は、運動が苦手な児童でもダンスや歌を取り入れて、体を動かすことが楽しいと思えるきっかけを作って取り組んでいると感じる。5、委員より、区全体として、運動に親しむ児童が減っている。ソフトボール等チーム減少のなか、東中本小学校はソフトボールで優勝し、嬉しく思う。6、委員より、子どもはずっと動いていると、いいが、コロナなど、いったん活動を辞めてしまうと、しんどくなる。これからの課題だと思う。
	2、	1、働き方改革。長時間勤務を解消するため、4月から17；00以降留守番電話対応と公務に支障がない範囲で時差勤務実施する。2、行事について。年度初に行事過多の状況を分散させ、子どもとの関わりの時間をさらに創出していく。全校遠足は2学期に実施、運動会は個人競技と団体競技とし、団体演技は11月演技発表会で披露、作品展は絵画、工作を隔年で実施。3、戦略予算。次年度は4・5・6年漢字検定を行い、目標をもってチャレンジできるようにする。4、修学旅行は、移動手段を電車からバスに変更させることで、移動時間を削減し、子どもたちの活動内容を充実させる。5、泊を伴う行事の学校徴収金について。物価高のため保護者に追加徴収を周知する。	

協議 資料	・運営に関する計画（中間）
備考	傍聴者[0]名